

令和6年神前お供え物

午前9時頃に祓い殿に納入し、宮司（夫人）によって三宝に載せて供えられる。

神前御供え物係は、その手伝いをする。

ここに書いているのは写真から。実際は？

品目		金の御幣宅 (集会所)	秋季例大祭（神社）		新嘗祭 (神社)
区分	品名	数量	数量	留意事項	数量
御神酒		1升	5升		1升
鏡餅		1パック	5パック	二重餅（径20cm）をビニルパック 本殿用3パック（毎日交換）、白鳥社と 若宮社用が各1パック	
穀物	白米	1升	3升	1升ずつ透明ビニル袋入り	1升
	玄米		3升	（毎日交換）	-
	大豆		1升		-
	小豆		1升		-
海の物	鯛		3匹	発泡スチロール容器入り （3日間、毎朝納入）	-
	イリコ		-	-	2袋
野菜	大根	1本	10本		1本
	白菜		5株		1株
	さつま芋		10個		-
	里芋		20個		-
	人参		10本		-
山の物	栗		3kg		-
	梨	3個	10個		-
	柿		10個		6個
	りんご		10個		6個
	みかん		1箱		6個
乾物	高野豆腐		6袋		-
	だし昆布		6束		2袋
	スルメ		10枚		-
	干椎茸		3袋		2袋

注1：秋季例大祭では、金曜日にAコープ午後6時までに取りに行き、鮮魚（鯛）以外は土曜日朝に全部納入する。

← そうなのかどうか、要確認

注2：品目と数量は、宮司（夫人）と本当屋とで打合せすること。

この意味は以下のとおり。

ほとんどがAコープ調達品なので野菜類は劣化が激しい（大根に葉なし）、三宝の大きさからして米1升は少なく見える等を感じた。一方、宮司は「自分からは強要になるので何とは言えない」という。氏子として真っ当なものを御供えすべきで、そのための準備や工夫の余地があると思う。